



2026
鯉魚潭賞螢季

起點看
賞金姑

LIYU LAKE
FIREFLIES FESTIVAL
15.04.10-05.02



主辦單位：花東縱谷國家風景區管理處

協辦單位：花蓮縣棲地保育學會(青陽農園) / 鯉魚潭商圈發展協會 / 太魯閣客運 / 晴旅國際旅行社

廣告

「鯉魚潭」は標高 601 メートルの鯉魚山の左に位置する湖で、この様な名前が付きまして。湖の南北の長さは 1640 メートル、東西の幅は 930 メートル、西側は浅く東側は水深が深くなっています。湖は季節により多少の満ち引きがあります。鯉魚潭は水面がゆらりゆらりとたゆたい、美しい山々と青い空に映え、一段としなやかで美しい姿を湛えています。植物は低海拔の広葉樹林に属し、動植物は種類が豊富で、三方を山に囲まれ、蒸気が満ち満ちた、ホタルの楽園であり天国となっています。

ロマンティックな 4 月には、鯉魚潭の黒翅蛍（別名台湾ンボタルとも呼ばれるゲンジボタルの一種）の求愛の季節を迎え、おびただしい数のホタルの光が、野山に解き放たれ、ホタルの恋の歌が大地にこだまします。ホタルをご鑑賞されたい方は、その短くも熱き恋の光を垣間見るこの絶好のチャンスに、ぜひ鯉魚潭にお越しいただき、ホタルたちとの「一期一会」をどうかお見逃しなく！



花蓮鯉魚潭 - よく見られるホタル

ホタル亜科

ホタル属：紅胸黒翅蛍、紋胸黒翅蛍（紋蛍）、三節熠蛍

晦蛍属：黒翅晦蛍（黒翅蛍・別名台湾ンボタル）、大晦蛍（大端黒蛍）

脈翅蛍属：黄肩脈翅蛍、黄脈翅蛍

ミナミボタル亜科

垂鬚蛍属：双色垂鬚蛍

マドボタル亜科

マドボタル属：大陸窓蛍（台湾窓蛍）、山窓蛍、紅胸窓蛍、突胸窓蛍

短角窓蛍属：蓬萊短角窓蛍、ダイダイ蛍

扁蛍属：雲南扁蛍

櫛角蛍属：赤腹櫛角蛍、黒腹櫛角蛍



紅胸黑翅螢 (夜行性)

生息時期：3~6月
全長：約 10~12mm



黑翅晦螢 (夜行性)

生息時期：4~6月
全長：約 6~11mm



黃肩脈翅螢 (夜行性)

生息時期：4~9月
全長：約 6~8mm



黃脈翅螢 (夜行性)

生息時期：4~8月
全長：約 6~7mm



赤腹櫛角螢 (昼夜行性)

生息時期：5~8月
全長：約 15~19mm



黑腹櫛角螢 (昼夜行性)

生息時期：3~6月
全長：約 16~19mm

花蓮鯉魚潭 - よく見られるホタル



山窓螢 (夜行性)

生息時期：10~翌年1月
全長：♂ 約 17~22mm
♀ 約 26.5~28.3mm



紅胸窓螢 (昼行性)

生息時期：3~6月
全長：♂ 約 9~12mm
♀ 約 13~15.7mm



大陸窓螢 (夜行性)

生息時期：3~12月
全長：♂ 約 12~15.7mm
♀ 約 19.1~20mm



雲南扁螢 (夜行性)

生息時期：11~12月
全長：♂ 約 13~16mm
♀ 約 20~32mm



蓬萊短角窓螢 (夜行性)

生息時期：4~6月
全長：♂ 約 17~22mm
♀ 約 26.5~28.3mm



ダイダイ螢 (夜行性)

生息時期：10~12月
全長：♂ 約 13~16mm
♀ 約 23~27mm



ホタルの一生

ホタルは完全変態の鞘翅目（コウチュウ目）の仲間です。夜闇のホタルは、まるでランプを持つ精霊のように、森や原野をくぐり抜け、大地に神秘の色を描き出します。しかし彼らはどんな段階を経て、どうやって光を発するのでしょう？そして、その光の目的は何のためなのでしょう？



虫たちの危機？

生存環境がおびやかされると、ホタルたちは消えうる運命にあります。台湾のホタルはどんな脅威や危害におびやかされているのでしょうか？ホタルたちが大地の舞台に舞い戻って来ることができるように、私たちに何かできることはあるのでしょうか？



斜面のセメント化



街灯の設置



過度の除草剤の使用



ホタルは何を食べるのか？

幼虫の餌

幼虫と成虫の餌は全く違います。カタツムリや貝類、ミミズなどが主な餌です。陸上ではカタツムリやナメクジ、ベッコウマイマイを、水中ではカタツムリや二枚貝を主な餌としています。水中にいる幼虫は水中の貝類や二枚貝を主な餌としています。

山窓螢の幼虫はタママイマイを、ダイダイ螢の幼虫はミミズを餌とし、山窓螢の幼虫はカタツムリを、ホタルの幼虫は白高腰カタツムリを餌としています。



幼虫は水中の貝類な餌



成虫は露のを吸い

成虫の餌

成虫は露と花の蜜のみを吸い、幼虫はカタツムリやミミズを主に食べます。台湾のホタルは成虫の口器が退化して獲物を捕らえる機能が失われたため、露と花の蜜のみを吸います。



山窓螢の幼虫はタママイマイを



ダイダイ螢の幼虫はミミズを餌とし



山窓螢の幼虫はカタツムリを



ホタルの幼虫は白高腰カタツムリを餌としています



敵に気を付けて？！

自然界は過酷な競争とサバイバルに満ちています。ホタルが生き残り、世代交代を成功させるためには、独自のサバイバル術と戦略が必要です。では、ホタルはどうやって身を守っているのでしょうか。そして、その敵とは何なのでしょう？



アシダカグモは
大端黒蛍を



コウガイビルは
黒翅蛍を



食虫カメムシは紋胸黒
翅蛍を餌としています

ホタルの主な天敵は蜘蛛です。自然の生態系では、蜘蛛は常に捕食者として重要な役割を果たしています。蜘蛛のおかげで生態系のバランスが保たれているのです。蜘蛛のほかには、食虫性のカメムシやカエルもホタルの天敵です。扁形動物のコウガイビルもホタルを餌とします。ですが天敵に囲まれると、ホタルは防御システムが働き、恐怖を感じると、ホタルは羽の下や足の末端からある種の悪臭を放つ「嫌な臭い」を分泌して敵を追い払ったりしますが、仮にそれが役に立たなかった場合には、座して死を待つほかにありません。



ホタル観賞のコツ

ホタル観賞はお楽しみが沢山ですが、夜間の活動であることに変わりはありません。ホタルの他にも沢山の生き物がいますので、皆様どうかお静かに！

1. 出発時と帰りの時には必ずツアーガイドから離れずに着いてきてください。
2. 安全のために、ホタル観賞は歩道の白線内を歩いて下さい。
3. 他の方のホタル観賞の妨げにならないよう、小さな声でお話し下さい。
4. ホタルを捕まえたり、追いかけてたりせず、マナーの良いホタル観賞客になりましょう！
5. 懐中電灯などは使用ご使用にならないで下さい。それでは、皆様楽しいホタル観賞になりますように！



花東縱谷國家風景區 官方網站



花東縱谷國家風景區 FB專頁

廣告

主辦單位：花東縱谷國家風景區管理處

協辦單位：花蓮縣棲地保育學會（青陽農園）

鯉魚潭商圈發展協會

太魯閣客運

晴旅國際旅行社